

白浜レスキューネットワーク通信 9月号  
〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8  
TEL&FAX0739-43-8981

<http://srnw.or.jp>

e-mail [yabiumi@gmail.com](mailto:yabiumi@gmail.com)

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク  
紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人  
白浜レスキューネットワーク

### 自殺者救済活動

9月1日～9月30日

電話件数 100件

メール相談 3人

保護件数 1件(男性1名)

○男性を一人保護。目に障害を持っている。行政にも相談に乗ってもらい、今後のことを話し合っていくことに。

### 生活自立支援活動

9月1日～9月30日

滞在者数 12人(男性10人、女性2人)

自立 1人

○月末に、警備員をしている男性が、白浜町内のアパートへ移った。会社が保証人になってくれた。

○お菓子屋さんに勤めている男性は、任されることが増えてきたことを喜んでいる。

○デイサービスに行っている男性は、訪問介護との両立で、支えられている。本人は、街のゴミ拾いには行けなくなったが、それでも洗濯物干しや掃除など、イキイキと生活している。

○背骨の圧迫骨折の治療をしている女性は、コルセットをもらってから、ずいぶんと行動範囲が広がり、出来ることも増え、玄関のお花など、とてもよく管理してくれている。

○コンビニに勤めている男性は、まちなかキッチンとの両立にも慣れてきたことから、将来どうしていきたいかと話し合いを持った。彼の願いは、6畳一間で15万円程の給料があればいいというものだった。それ以上のことは、あまり考えられないと。

○まちなかキッチンで配達を始めた男性と今後について話し合いを持った。「ここでの生活

は楽だ」と言う男性。「守られ、三食が保証され、寝るところがある。そして、簡単な作業以外はほとんど何も強いられない。」「生活面や仕事面で先生が叱られていることはもったいなく、納得のいかないことはない。」これまでこんなことを言った人は初めて。

これまで厳しすぎると批判されることが多かったが、楽だと感じる人が出てきたことで、やっていることは間違っていないと確信した。

### 自殺予防活動

・フードバンク&フードドライブ

9月に入り、グルメシティでの食糧提供を再開する。白浜町社会福祉協議会他、2箇所から食糧援助の依頼を受け、3名の方々に2週間分の食料提供を行う。

・放課後クラブ・コペルくん

月曜日から金曜日まで、3～7名の子どもたちが利用した。算数の途中式や、感じの書き順は、かなりいい加減で、何度やり直しさせても定着しないところに苦労している。

・コペルくん+

3名の子どもたちが火曜日、金曜日に、夜ご飯とお風呂まで面倒を見ています。

・夜コペ

中学生5人、高校生1人が、月、水、金の夜に勉強に来ている。高専生が支援に入って、高校生の勉強を見てくれた。

・まちなかキッチン

8月の忙しい時期を乗り越えお疲れ様会を行う。

・相談電話

5日、12日、19日、26日に行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。